

甲状腺ガン検診の区議会決議を求める陳情

(福祉健康委員会付託)

受理番号 第 86 号

受理年月日 平成 29 年 1 月 27 日

付託年月日 平成 29 年 2 月 24 日

陳情者 . . . . .  
. . . . .  
. . . . .

陳情原文 東京電力福島第一原発の大事故は、放射能汚染を日本全国に広げ、いまだに事故収束していません。現在も 10 万人以上の福島の人々は、きびしい避難生活を余儀なくされています。

2015 年 8 月 31 日に公表された「福島県民調査報告書」は、福島県の小児甲状腺ガンまたは疑いの子ども達が、合計 137 人になったと発表しました。発症率の高さは、福島原発事故による放射能汚染による結果であることは明らかです。チェルノブイリ原発事故では、小児甲状腺ガンが増加したのが、事故後 4 年目以降と言われてきました。

福島原発事故当時、放射能汚染は東京はじめ日本全国に広がりました。江戸川区内も放射能汚染の影響は、十分受けており、江戸川の子ども達も小児甲状腺ガンの心配が考えられます。

そこで江戸川区議会が下記の項目を決議することを陳情します。

記

震災時に江戸川区内の中学 3 年生以下の子どもが甲状腺ガン検診を希望した場合には、検査料の補助をおこなってください。